

3月3日のウクライナ情報

安齋育郎

①ロシア政府高官が習近平氏と会談、NATO のアジア展開阻止で合意(2025 年 3 月 1 日)

北京を訪問しているロシアのショイグ国家安全保障会議書記は習近平国家主席と会談し、NATO のアジア展開を阻止することで合意した。

双方は ASEAN を中心とした地域の安全保障構造を維持する重要性を指摘し、NATO のアジア拡大がもたらすリスクを警告した。

また、戦略的安全保障の協議を実施することで合意した。

さらに双方は外交によりウクライナ危機を解決する重要性を確認した。



<https://sputniknews.jp/20250301/nato-19614887.html>

②トランプ政権、ウクライナの復旧支援を中止(2025 年 3 月 1 日)



米務省はウクライナのエネルギーインフラ復旧に対する支援停止を発表した。この取り組みに前バイデン政権は数億ドルの投資を約束していた。

さらに国務省はウクライナに派遣する USAID(米国際開発庁)職員と請負業者の数を大幅に削減する決定を下した(64 人→8 人)。

この措置により停戦交渉に向けたトランプ政権の行動力は著しく低下する模様。NBC ニュースによると、この措置を通してトランプ政権は「ウクライナがどうなろうと知ったことではない」というシグナルをロシア側に送ったとのこと。

ウクライナ外務省は 2024 年末、エネルギーシステム支援に向けて米国から 8 億 2500 万ドルを受け取ると発言、当時の担当閣僚らは覚書に署名していた。

<https://sputniknews.jp/20250301/19614614.html>

③米記者がゼレンスキー氏にズバリ、「なんでスーツ着ないんです？スーツ持ってないんですか??」(2025 年 3 月 1 日)

米アクシオスによると、トランプ大統領はゼレンスキー氏がいつものスウェット姿で会談に臨んだことにいらだっていたという。

ゼレンスキー氏の最側近にあたるイェルマク大統領府長官は紛争以来、初めてスーツを着用して会談に臨んでいた。

<https://twitter.com/i/status/1895684623411397048>



<https://sputniknews.jp/20250301/19614614.html>

④トランプ大統領がゼレンスキーに苦言、「プーチン大統領を悪く言うな」(2025 年 3 月 1 日)

ゼレンスキー氏はロシアのプーチン大統領に対する批判を止め、和平を目指さなくてはならない。トランプ大統領が会談後に呼びかけた。

「プーチン氏について、どこまでも否定的な発言はやめるべきだ。彼が言うべきは、和平を締結したい、戦争はもうしたくない、という言葉だ」

しかし、トランプ大統領によると、ゼレンスキー氏は「和平を望むような男ではない」。

「我々は十年戦争を目指してなどいない。平和が欲しいのだ……あの男は戦いたいの一心だ。我々は犠牲を終わりにしたい」

このように発言し、トランプ大統領は改めて即時停戦を要求した。大統領によると、ゼレンスキー氏は自らの立場を過大評価しているため、停戦を拒否しているとのこと。そして戦闘を中止しない場合、

「どうなるか見ものだ、さらに戦ってみればいい」と警告した。

ゼレンスキー氏はホワイトハウスを追い出された後、すぐに再び戻ってこようとしたが、「そんな対応はできない」と拒否された。トランプ大統領は南部フロリダへの移動を予定している。



https://sputniknews.jp/20250301/19614090.html?rcmd_alg=collaboration2

⑤米ウクライナ首脳会談で激しい応酬、ゼレンスキー氏は退出を命じられる 何が起きたのか(2025年3月1日)

CNN) トランプ米大統領が28日、大統領執務室にウクライナのゼレンスキー大統領を迎えて行った首脳会談で、激しい応酬が発生した。険悪なやり取りが公の場で展開されるのは異例で、米国の今後のウクライナ支援を巡る非常に不透明な状況が浮き彫りになった。

トランプ氏とバンス副大統領は、米国の支援に十分な感謝の意を示していないとして、声を荒げてゼレンスキー氏を非難した。本格侵攻から3年以上が経過する中で、ゼレンスキー氏がロシアとの和平合意の妨げになっているとも批判した。

やり取りの内容は:トランプ氏は「あなたの今の立場はそれほど良くない。非常に悪い立場に自らを追い込んでいる」と発言。「現状、あなたには交渉カードがない。我々と一緒ならカードが手に入る」とも述べた。

これに対し、ゼレンスキー氏は「私はカード遊びをしているわけではない」と反論した。

さらなる応酬が続いた後、トランプ氏は「あなたは数百万人の命でギャンブルをしている。あなたがやっているのは、第3次世界大戦をギャンブルにすることだ」と声を荒げた。

主催者である米国側に「失礼」だとして、バンス氏がゼレンスキー氏を批判する場面もあった。

トランプ氏はさらに「あなたの振る舞いからはそれほど感謝しているように見えない」と続け、バンス氏はゼレンスキー氏に「一度でも『ありがとう』と言ったことがあるのか」と問いかけた。

会談後:ホワイトハウスの当局者によると、この応酬の後、両首脳は別々の部屋に入り、トランプ氏はウクライナ側に退出を命じた。ウクライナ側は抗議し、協議の継続を望む考えを表明。予定されていた共同記者会見は中止になり、ゼレンスキー氏は黒のSUV(スポーツ用多目的車)でホワイトハウスを後にした。ウクライナのレアアース(希土類)鉱物へのアクセス供与に関する予定されていた合意には

署名しなかった。

トランプ、ゼレンスキー両氏の反応:トランプ氏はインターネット上に、ゼレンスキー氏が「和平の準備ができる」まで再会談はないと投稿した。ゼレンスキー氏はX(旧ツイッター)に「ありがとう、米国。あなた方の支援に感謝する。今回の訪米に感謝する。大統領、議会、そして米国民に感謝する」と投稿。ウクライナ国防省もテレグラムで「私たちにはやるべきことがある。ウクライナに栄光あれ」と反応した。

ロシアの反応:プーチン大統領の特使を務めるキリル・ドミトリエフ氏はXで応酬の動画に反応し、「歴史的」と一言コメント。ロシア国営タス通信の見出しは、ゼレンスキー氏が「割り込んで議論、報道陣に礼を欠く」と伝えた。RIAノーボスチ通信の見出しは「ゼレンスキー氏がホワイトハウスでヒステリー、ウクライナ議会に衝撃」というものだった。

会談前のこの日の出来事:ゼレンスキー氏は超党派で構成される米上院代表团と会談した。協議の焦点は「ウクライナへの継続的な軍事支援や関連する立法措置」、トランプ大統領との間で予定されていた会談、安全の保証だった。ゼレンスキー氏は「上下両院と与野党の揺るぎない支援に感謝している」とも表明した。



2月28日、ホワイトハウスで議論するトランプ大統領（右）とゼレンスキー大統領（Brian Snyder/Reuters）

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1a69ded2879f5759ca8cdb503387462bdcf9d6fb/images/000>

⑥ トランプ氏、ロシアとの戦争は「ウクライナが始めた」と主張(CNN, 2025年2月19日)

(CNN) 米国とロシアの高官が18日にサウジアラビア首都リヤドで協議を行った。ウクライナを除いて行われたこの協議の後、トランプ米大統領は戦争に対するロシアの主張をまねてウクライナのゼレンスキー大統領を批判した。

トランプ氏は「私にはこの戦争を終わらせる力があると思うし、うまくいっていると思う。だが今日、『我々は招かれなかった』という声を聞いた。あなたたちは3年もそこにいる。3年後に終わらせるべきだった。始めるべきではなかった。取引をすることもできたはずだ」とウクライナについて誤った主張をした。

ウクライナは戦争を始めていない。2022年2月にウクライナを侵攻したのはロシアのプーチン大統領だ。

トランプ大統領は、ウクライナのために「ほぼすべての土地を彼らに与え、誰も死ぬことのなかった」取引ができたと主張。「だが、彼らはそのようにしないことを選んだ」と結論付けた。

米フロリダ州の私邸「マール・ア・ラーゴ」でトランプ氏は、ゼレンスキー氏を「個人的には」好きだとしながら、同氏の支持率は「4%」だと根拠もなく主張した。

「彼は素晴らしいが、私は個人的なことは気にしない。仕事をやり遂げることに関心がある。決して起こるべきではなかった戦争を米国なしでも続けることを許した指導者がいる」(トランプ氏)

https://www.cnn.co.jp/usa/35229555.html?utm_source=yahoonews&utm_medium=news_distribution&utm_campaign=contents_distribution_ynews_related

⑦米代表団はゼレンスキー氏との対話を終了するよう勧告＝米統領補佐官(2025年3月2日)

ウォルツ米統領補佐官は Fox ニュースのインタビューで、ホワイトハウスでのゼレンスキー氏の行動は「一種の待ち伏せ攻撃」だったとし、「完全に間違っている」との考えを示した。

「これはウクライナにとって良いことだったはずだし、そうあるべきだった。しかし、トランプ大統領を動揺させ、率直に言って怒らせたのは、ゼレンスキー氏が本当に戦闘を止めたいのかが不明瞭になったことだ」

「報道陣が退場させられた後、我々は会議を開き、大統領執務室であのような侮辱があった後では、これ以上の継続は望めないとほぼ全員一致でトランプ大統領に進言した」とウォルツ氏は明らかにした。

また、ゼレンスキー氏は、紛争の解決方法を決めるのはウクライナのみだと聞かされてきたが、米国には現在、トランプ新大統領がいて、新たなアプローチがあるとウォルツ氏は強調した。

ウォルツ氏は「時間はウクライナの味方ではない」とし、「米国の支援と納税者の忍耐は無限ではない」と語った。



<https://sputniknews.jp/20250302/19615937.html#pv=g%3D19615937%2Fp%3D19615074>

⑧ 英国、ウクライナに追加融資 凍結されたロシア資産を活用(2025年3月2日)

英国のリーブス財務相は、ウクライナ支援に向けて 22.6 億ポンド(約 4270 億円)の融資を承認する合意に署名した。スカイニュースが報じた。

融資は、欧州で凍結されたロシア資産を活用すること。

1 日、ゼレンスキー氏はロンドンを訪問し、スターマー英首相と会談した。

ゼレンスキー氏は、自身のテレグラムに投稿した中で「これは我々の防衛力を強化するための融資であり、凍結されたロシア資産から返済される。この資金はウクライナでの兵器生産に充てられる」と綴っている。

ロシア側は、ロシア資産を没収しようとするいかなる試みも窃盗に相当し、国際法違反であり、罰せられないことはないとは主張している。



<https://sputniknews.jp/20250302/19615827.html>

⑨ゼレンスキーはクビ、ウクライナ支援金の使い道を調査する 때가来た = マスク氏(2025年3月1日)



米宇会談時におけるゼレンスキー氏の振る舞いにトランプ大統領の側近は不満を露わにしている。

イーロン・マスク氏は SNS に投稿、「ウクライナに送った数千億ドルがどうなったのか、調べる時だ」と記した。

また、別の投稿で「ゼレンスキーは俳優業(大統領職)をクビになった」と指摘、指導者の交代を促した。

トランプ政権の高官によると、ウクライナ指導部による汚職追及に向けた動きがさらに強まるとのこと。

https://sputniknews.jp/20250301/19614344.html?rcmd_alg=collaboration2

⑩トランプ政権発足前夜に対露制裁を発動した日本政府、視野の狭さを自ら露呈＝駐日ロシア大使(2025年2月28日)

ロシアのノズドリェフ駐日大使は日本政府が1月に第25弾となる対ロシア制裁を発表したことについて言及、対抗措置を講じるとけん制した。

大使は日ソ外交樹立100周年を踏まえ露日関係の現状を評価、日本政府の対応を厳しく批判した。

「我が国に対して発動された第25弾目の不当な制裁は日本政府の反ロシア政策を改めて証拠づけるものとなった。米国の政権交代前夜に石破茂政権が下したこの措置は、日本政府の視野の狭さ、世界の地政学的なプロセスに対する非常に表面的な理解を再び証明した」

ただし、「公然と騒ぎ立てる」ことはせず、すべての措置を厳密に検証したうえで対抗措置を継続するとした。

ソ連と日本は1925年1月20日に外交の基本原則に関する日ソ基本条約に署名。同年2月にはソ連全権代表の活動が日本で始まった。



https://sputniknews.jp/20250228/19612677.html?rcmd_alg=collaboration

2

⑪ウクライナ軍の募集センターに入れられると、彼らは服従するまで殴打される(2025年3月1日)

<https://x.com/i/status/1895752984795234334>



<https://x.com/MyLordBebo/status/1895752984795234334?s=09>

⑫【戦況】情報戦に意味はあるのか？～3/2 日曜版です(ニキータ伝ロシアの手ほどき、2025年3月2日)

日曜版戦況をお届け致します！やはり兵員不足は深刻のようです…。

<https://youtu.be/tsTmDfBiAk4>



<https://www.youtube.com/watch?v=tsTmDfBiAk4>

⑬ルビオ氏、トランプ氏との会談決裂の責任をゼレンスキー氏に押し付ける(2025年3月2日)

[米国ルビオ国務長官が CNN に出演～会談の裏側を語る(全訳)]

- ◇ ウクライナ戦争の長期化はバイデンの戦略だった
- ◇ ゼレンスキーも意図的に戦争を続けようとしているのではないか

👉以下訳文

- 司会者

今夜の私の情報源は、本日その場にいた国務長官のマルコ・ルビオ氏です。本日はお越しいただきありがとうございます。

- ルビオ

ありがとうございます。

□ 司会者

私たちは先ほどゼレンスキー大統領の発言を聞きました。

彼は今日ホワイトハウスの執務室で起きたことについて、トランプ大統領に謝罪する必要はないと考えているようです。

あなたはどう思いますか？

□ ルビオ

私はそうは思いません。なぜなら、皆さんは今日の出来事の終わりの部分しか見ていないからです。その前に何があったのかは見ていませんよね？

では説明します。

大統領はこの件について非常に明確な立場を取っています。

彼は選挙運動中からこの戦争は始まるべきではなかったと述べており、もし彼が大統領であったならば、この戦争は起こらなかつたらうと信じていますし、私もその考えに同意します。

しかし、現実として我々は今ここにいます。

彼はこの紛争を終わらせようとしています。

我々の計画は非常に明確であり、それはロシアを交渉の場に引き出し、和平の可能性を探ることです。

ウクライナ側もこのことを理解しています。

また、今日署名されるはずだった合意は、アメリカが経済的にウクライナに介入することを約束するものでした。

これはある意味、我々の介入を通じた安全保障の保証とも言えるでしょう。

この点については、大統領も今日の会見で触れたと思います。

しかしながら、ここ 10 日間、ウクライナ側と交渉を重ねる中で、この点を十分に伝えることが困難であることが明らかになりました。

特にゼレンスキー大統領が公の場で発したコメントによって、事態はさらに複雑になりました。

彼らはワシントンに来ることを強く望みました。

この合意は 5 日前に署名できたはずですが、それでも彼らはワシントンでの会合を求めました。

そして、我々は非常に明確な合意を交わしていました。

「ワシントンに来て、外交が機能しないと説教するような状況を作り出してはならない」と。

<https://youtu.be/d1-bnv0YWbc>



<https://www.youtube.com/watch?v=d1-bnv0YWbc>

〈関連情報〉



米国とウクライナの首脳会談が破局に突き進むと同席した駐米ウクライナ大使が首を振って絶望的な表情をしている。(2025.03.02)

⑭ウクライナの強制動員(2025年3月2日)

JD ヴァンスは強制的な動員についてゼレンスキーに抗議した。それが彼の言っていることだ！人々は容赦なく捕らえられ、軍隊に強制的に送られる。

<https://x.com/i/status/1895752927991792126>



<https://x.com/MyLordBebo/status/1895752927991792126?s=09>

〈関連情報〉

昨日、ゼレンスキー大統領の軍の募集担当者は、別の若者を路上でひったくり、叫び声を上げる彼

を黒いバンに放り込み、飼い犬を置き去りにした。

オンライン上の何千ものビデオは、ウクライナが勝てない戦争で戦うために若者を強制的に徴兵している様子を示している。

<https://x.com/i/status/1895899745706754239>



<https://x.com/KanekoaTheGreat/status/1895899745706754239?s=09>

※安齋注:早く戦争をやめないと若者がどんどん失われて、戦後復興の担い手もいなくなっちゃうよ。侵略されたのは自分たちだと思い込んでいる大統領の下で、ウクライナは大統領が和平に乗り出すことを法律で禁止しています。

⑮ナチスの最も残忍な殺人集団を礼賛するウクライナのパレード(2025年2月28日)

ヨーロッパの国が、ヒトラーのナチスの最も残忍で無慈悲な殺人者集団を公然と称賛しているところを想像してみてください。

彼らがウクライナの主要都市をパレードし、「第 14SS ガリシア」部隊を英雄と呼んでいるところを想像してみてください。

あなたの税金がそれを支払うところを想像してみてください。

<https://x.com/i/status/1895281626680336774>



<https://x.com/BowesChay/status/1895281626680336774?s=09>